

LEDデジタル時計 リモコン操作説明書



- ・本書の内容は改良の為、予告なく変更する場合があります。
- ・本書の無断転載を禁止します。

株式会社 マイクロ電子サービス

[目次]

本リモコンで出来る事	1
内容品について	1
各部の名称	2
基本操作	2
テストモード表示	3
12時間制 / 24時間制の変更	3
時刻設定操作	4
日付設定操作	4
カウント機能	5
タイムシフト機能	7
調光機能	7
その他の表示機能	8
困ったときは	9
お手入れについて	9
安全にお使いいただくために	裏表紙
保証	裏表紙

[本リモコンで出来る事]

- ・対象時計の時刻、日付及び12時間制 / 24時間制の設定が出来ます。
- ・タイムシフト機能、各種表示機能の設定が出来ます。
- ・電波時計の受信状態などの確認が出来ます。

[内容品について]

予め以下の物が揃っているか確認して下さい。



リモコン送信機



単4 × 2
電池

準備

- リモコン送信機に電池をセットします。
電池ケースの表示に従い、乾電池を正しく入れて下さい。
- ・電池の極性(+ -)を間違えないように注意して下さい。
乾電池は単4のマンガン又はアルカリ電池を使用します。

[各部の名称]



テンキー
時刻設定や日付設定で数値を入力します。
1～5で調光設定もできます。

時刻設定キー
時刻を設定します。

日付設定キー
日付を設定します。

12H / 24Hキー
12時間制と24時間制を変更します。

決定 / 表示キー
テストモードの表示を切り替えます。
時刻、日付設定時は変更を決定
又は項目を変更します。

後退キー
点灯、カウント時スタート
時刻、日付設定時は1字後退します。

取消キー
消灯、カウント時ストップ
時刻、日付の設定時は設定の取り消し。

[基本操作]
リモコン操作一覧

1	2	3	
調光1	調光2	調光3	時刻設定
4	5	6	
調光4	調光5		日付設定
7	8	9	
			12H/24H
0	取消	後退	決定
	消灯	点灯	表示

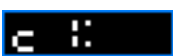
ストップ スタート ← カウントモード時


← 時刻 / 日付設定時の操作
← 通常時の操作

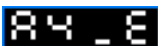
1. テストモード表示


表示画面はMLC16シリーズ(「秒なし」製品)画面になります(以下同じ)
表示キー 表示画面 決定 / 表示キーを押す毎に左の様に表示パターンが変わります。

通常表示 

カウントモード1  ———— 設定した時間からカウントダウン又は0からカウントアップします。

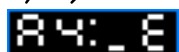
カウントモード2  ———— 現在時刻から設定した時刻までの時間をカウントダウンします。

受信表示  ———— 電波の受信状態を表示します。

全点灯  ———— アンテナユニット接続時に有効です。LEDランプの点灯を確認するものです。

通常表示に戻る

受信表示



A: 受信表示である事を示しています。

選局 4: 福島局を受信中です。

6: 九州局を受信中です。

F: アンテナユニットの設定に依存します。

TCO


受信中は下線_マークが1秒間隔で点滅します。点滅が止まったり周期が不安定になる場合は受信状態が良くありません。

コード

受信したタイムコードにより0, 1, 2, Eの表示が出ます。Eは判別不能のエラーでこれが頻繁に出る場合は受信状態が良くありません。

2. 12時間制 / 24時間制の変更

12H/24Hキーを押す毎に12時間制と24時間制の表示が変わります。変更後に次の様に一旦表示されます


 12時間制に変更

 24時間制に変更

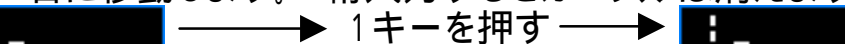
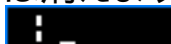
午前(AM)及び午後(PM)の表示はありません。

3. 時刻設定方法

時刻設定キーを押します。

 画面には左の様にカーソルが表示されます。

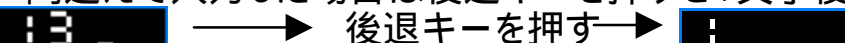

テンキーで時刻(時、分)を入力します。4桁で入力して下さい。
テンキーで数値を入力する毎に画面に表示され、カーソルが右に移動します。4桁入力するとカーソルは消えます。

 1キーを押す → 

例: 9時58分の場合は0958と入力します。

24時間制で入力して下さい。

間違えて入力した場合は後退キーを押すと1文字後退します。

 後退キーを押す → 

入力後、決定キーで設定されます。

決定キーを押した瞬間に0秒となります。


あり得ない時刻を入力したり、4桁未満の場合、設定されません。

その場合はカーソルが左端に戻ります。入力をやり直して下さい。

時刻設定を中止する場合は取消キーを押します。

4. 日付設定方法


日付設定キーを押します。以後時刻設定と同じ要領で入力して下さい。

 表示画面(年の入力)

西暦年の下2桁を入力します。尚、入力しないで決定キーを押すと、現在の設定を変えずに月、日の入力に進みます。

例: 2007年の場合は07と入力します。


決定キーを押すと月、日の入力になります。1桁しか入力しない場合は無効となり、年の入力からやり直しとなります。

 表示画面(月、日の入力)

月、日を4桁で入力します。尚、入力しないで決定キーを押すと現在の設定を変えずに曜日の入力に進みます。

例: 3月5日の場合は0305と入力します。

決定キーを押すと曜日の入力になります。但しあり得ない日付や4桁未満の入力は無効となり、月、日の入力からやり直しとなります。

 表示画面(曜日の入力)

下記の曜日に対応する数値を入力して下さい。

日:0, 月:1, 火:2, 水:3, 木:4, 金:5, 土:6

決定キーを押すと、日付の設定が終了します。但し、対応以外の数値を入力すると無効となり、曜日の入力からやり直しとなります。

・それぞれの設定で後退キーを押すと1文字分後退します。

・年が設定されないとうるう年が正しく処理されない場合があります。

5. 消灯機能

通常表示(時刻等)にリモコンの取消キーを押すと消灯します。
リモコンの後退キー 又は決定 / 表示キー の操作で消灯を解除します。

- ・消灯時に12H / 24H、時刻設定、日付設定 の各ボタンを操作すると、設定時に表示しますが、設定終了後は消灯に戻ります。
- ・受信ランプは消灯の対象ではありません。受信状況により点灯します。
- ・本機能には停電補償はありません。停電復旧後は時計表示となりますので、消灯を継続する場合は、再度消灯設定してください。

6. カウント機能

6 - 1. カウントモード1

表示キーでカウントモード1にすると一旦次の表示が出てからカウント表示になります。

秒
分

カウント表示

MRC20など「秒付き」製品では、「時」「分」表示部でのカウントとなります。「秒」表示部は点灯しません。

カウントダウン

テンキーから時間を設定します。(カウント中は設定出来ません)

例1 12分34秒 1234と押します。

例2 5分00秒 500と押します。

例3 25秒 25と押します。

スタート キーを押すとカウントダウンを開始します。

ストップ キーを押すとカウントが停止します。

再度スタート キーを押すとカウントを再開します。

テンキーを操作すると時間を再設定します。

カウントが0になると自動停止します。この場合、スタート キーによる再開は出来ません。時間を再設定して下さい。

オプション(*1)のリレー出力を約2秒ONにします。ブザー等を接続している場合はブザーが鳴ります。

注意:秒を60以上に設定した場合、0秒までカウントダウンしてから分をカウントし、以後59秒からのカウントとなります。

1分30秒と設定するのと0分90秒と設定するのは同じ時間になります。1分90秒と設定した場合は2分30秒と同じ時間になります。

* 1:特別仕様になります。

カウントアップ

設定時間を0分0秒にするとカウントアップになります。



表示が0以外の場合、及びカウントダウンで自動停止した後は、テンキーから0を押します。

スタートキーを押すとカウントアップを開始します。

ストップキーを押すとカウントが停止します。

再度スタートキーを押すとカウントを再開します。

テンキーを操作すると0又はカウントダウンの時間設定になります。

99分59秒までカウントすると0に戻り、カウントを続行します。

6 - 2 . カウントモード2

表示キーでカウントモード2にすると一旦次の表示が出てからカウント表示になります。



秒

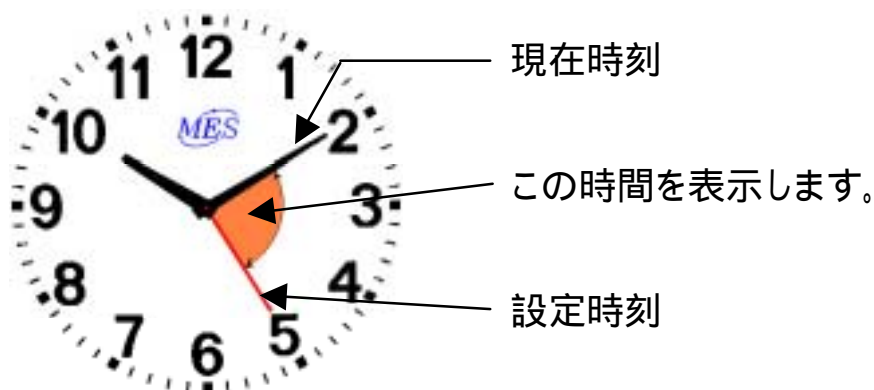
分

カウント表示

MRC20など「秒付き」製品では、「時」「分」表示部でのカウントとなります。

「秒」表示部は点灯しません。

現在時刻(分、秒)から設定時刻までの差を表示します。現在時刻と設定時刻が一致した時に0分0秒となります。



設定方法

テンキーから設定時刻を入力します。(カウント中は設定出来ません)



例 毎時12分34秒1234と押します。

スタートキーを押すとカウントダウン表示になります。

現在時刻から設定時刻までの時間を表示します。

例 現在時刻 6時10分0秒、設定時刻が12分34秒の場合、2分34秒と表示する。この場合、時は無視され、分と秒の相対時間を表示する。

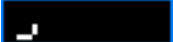
7. タイムシフト機能

本機は表示時刻を1時間単位でずらす事が出来ます。電波時計など任意の時刻を設定できない場合に利用出来ます。(日付はタイムシフトしません)

設定方法

時刻設定キーを押します

数値を入力せずに決定キーを押します

 左の様にカーソルの形が変わります

ずらしたい(進ませる)時刻を0～23時間の範囲で入力して下さい。

(0～9の場合は00～09と2桁で入力して下さい)

決定キーを押すと設定されます。中止する場合は取消キーを押します。

1時間遅らせる場合は23時間進む様に設定します。

例えばグリニッジ標準時は - 9時間(+15時間)ですので15と設定します。

8. 調光機能

室内の明るさ等に合わせて、時計の表示輝度をお好みの明るさに5段階の調整が出来ます。

設定方法

通常の状態(時計表示時)で、リモコンの1～5のキーを押すと、それぞれの設定輝度での表示となります。

操作キー	設定
1	約20%
2	約40%
3	約60%
4	約80%
5	フル

パーセンテージはフルを100%とした場合

注1)本機能には停電補償はありません。

停電復旧後は出荷時設定となり、フルの明るさとなりますので、再度、停電前の設定に調節してください。

注2)MRC20, MRC30, MRC40製品についての調光機能について

上記の製品は「ダイナミック点灯方式」を採用しています。





この方式は、消費電力を抑える為に、高速でLEDを点滅させています。

この為、輝度を低くすると、ちらつきも目立ちますので、設定輝度は約40%以上でお使いいただくことをお奨め致します。

9. その他の表示機能

以下に示す表示モードを設定する事が出来ます。温度及び湿度表示は対応製品のみ有効な表示になります。

(非対応の製品では0 又は0%の表示になります)

設定値	内容		
1	日付表示	日付表示	
2	温度表示		12月31日
3	湿度表示		
4	時刻 > 日付 交互表示	温度表示	
5	時刻 > 温度 交互表示		24
6	温度 > 湿度 交互表示		- 13
7	時刻 > 日付 > 温度 順表示		
8	時刻 > 温度 > 湿度 順表示	湿度表示	
0	時刻表示(タイムシフト)		50%
9	出荷時設定に戻す		


交互表示、順表示は約3秒ずつ表示します。

時刻表示以外のモードではタイムシフト機能と併用出来ません。

設定方法

時刻設定キーを押します

数値を入力せずに決定キーを2回押します

 左の様なカーソルになります

上記設定値を入力して下さい。

決定キーを押すと設定されます。

[困ったときは]

故障とお考えになる前に、以下の事項をもう一度御確かめ下さい。
それでも解決しない場合は、販売店に御相談下さい。

- リモコンの操作が効きません。
- ・リモコンに電池を正しく入れてありますか。
- ・リモコンの電池が消耗していませんか。電池が消耗してくると、リモコンの到達距離が短くなります。
- ・時計から離れすぎていませんか。又、リモコンの先端を時計の方に向けていますか。
- ・周囲にインバーター式の蛍光灯、直射日光等の赤外線を妨げるものがありますか。

設定した時刻あるいは電波時計で受信した時刻と異なる時刻を表示する。

- ・タイムシフト機能が設定されていませんか
(タイムシフト設定を0にしてみてください > 5 P タイムシフト機能)

[お手入れについて]

本器のお手入れは、柔らかい布でから拭きして下さい。
汚れがひどい場合は中性洗剤を染み込ませた布を、水滴が垂れないように絞ってから拭いて下さい。

- ⊙シンナー、ベンジンや酸性、塩素系の洗剤は本器の表面を痛めますので、使用しないで下さい。

- △注意：旧製品のリモコンとキー配列が異なります。これらの製品のリモコンを使用するとキーと表示が一致しない部分があります。又、ごく希に他の機器のリモコンで誤動作する場合があります。

リモコン操作説明書
発行 2008年10月
第1版

2010年3月
第2版

安全にお使いいただくために必ずお守り下さい

[表示について]

- △ 警告 : 警告、注意を促す内容です。
- ⊘ 禁止事項: してはいけない内容を示しています。
- ❶ 指示事項: しなければならない内容を示しています。

・ 警告 以下の注意事項をお守りいただけない場合、人が死傷したり、物的損害が発生する事が想定される注意事項を記載しています。

[△リモコン取り扱い注意事項]

- ⊘ 落としたり乱暴な扱いをしないで下さい。
- ⊘ 内部に異物(金属、液体など)を入れないで下さい。
- ⊘ 分解、改造をしないで下さい。
- ❶ 本器を廃棄する場合は、各自治体の規定に従って処理する様お願いします。
- ❶ 乾電池は正しく取り扱って下さい。(電池の極性を正しく合わせる。乾電池は充電しない。新旧、種類の異なる電池を一緒にしない、ショートさせない、古い電池は取り外す、電池を火中に投入しない、液もれした場合は液に触れない)
- ⊘ インバータ蛍光灯のそばではリモコン操作に支障しますので避けて下さい。

[保証]

本リモコンの保証については、対象時計本体の保証規定内容に準じます。